

野菜の需給・価格動向レポート(平成20年6月30日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	6月の価格動向(指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額) (上段:関東、下段近畿、速報値)			6月の見通し		
	平均価格	上旬	中旬	主産地の概況	卸の見通し(上段:関東、東京青果(株)、下段:近畿:大果大阪青果株)	
葉 茎 菜	キャベツ	67.2	58	60	・入荷見込量:13,970t(100) ・主産地:千葉(43)、茨城(26)	5月中下旬の低温、日照不足の影響で生育にやや遅れが出ている産地がある。 今年各産地ともに後半の作を増やす傾向にあり、昨年と同様の推移が懸念される。入荷は前年並で価格は昨年より若干高い見込み。 生育順調で作柄も概ね良好なことから前年を上回る入荷を見込み価格安を予想。
		81.66	59	75	・入荷見込量:4,000t(105) ・主産地:茨城(33)、兵庫(19)、愛知(11)	
	ねぎ	264.1	436	349	・入荷見込量:4,280t(98) ・主産地:茨城(65)、千葉(21)	生育は概ね順調で前年並みの出荷が見込まれる。 今年輸入品が少なく底値が上がって入荷は前年をやや下回り価格は前年を上回る見込み。
		334.73	359	347	・入荷見込量:260t(102) ・主産地:大阪(28)、徳島(24)、香川(14)、高知(11)	
	はくさい	67.05	56	61	・入荷見込量:5,260t(100) ・主産地:長野(61)、茨城(24)	4月、5月の降雨量がやや多かったが生育は順調で前年並みの出荷が見込まれる。 今年茨城産がやや早めに切り上がり、5月下旬はやや強めであるが、6月には長野産を始め順調で価格は落ち着く。入荷、価格は前年並の見込み。 長野産が生育順調で作柄も良く入荷増加を見込み、価格は前年並を予想。
		82.06	73	74	・入荷見込量:2,800t(110) ・主産地:長野(78)、茨城(14)	
	ほうれんそう	376.1	415	451	・入荷見込量:1,630t(100) ・主産地:群馬(24)、岩手(20)、茨城(17)、栃木(15)	関東の産地では平坦地から中山間地へ切り替わる時期。生育は順調で前年並みの出荷が見込まれる。 今年東北、北海道産が量的に多く価格を引っ張ると予想され、入荷は前年並で価格は前年並には届かない見込み。 生育順調で前半多め、後半やや少なめの入荷を見込む。価格は後半上向き見通しも前年並を予想。
		396.89	457	559	・入荷見込量:500t(101) ・主産地:岐阜(67)、奈良(14)	
	レタス	126.45	165	156	・入荷見込量:7,700t(103) ・主産地:長野(64)、群馬(25)	関東では5月中下旬に降雨量が多かったものの、生育は順調。高冷地では良好な天候のもと生育がやや前進化し手入るところもある。 今年準高冷地で生育順調と予想され入荷は前年よりやや増加し、価格は前年を下回る見込み。 生育概ね順調で作柄も良好。旬を追うごとに漸増から下押しも、入荷・価格共前年並を予想。
		132.22	190	173	・入荷見込量:1,900t(110) ・主産地:長野(93)	
たまねぎ	71.02	78	75	・入荷見込量:10,130t(95) ・主産地:佐賀(49)、香川(15)、兵庫(12)	九州では好天に恵まれ生育は順調。四国では作付面積が昨年に比べ減少。近畿では5月中下旬に降雨量が多く一部に病害の発生が見られる。 今年5月の早生までは豊作でやや低迷した。品質的にも今一歩であった。6月の中生から状況が変わって入荷は前年をやや下回り、価格は前年を上回る見込み。 生育順調で作柄も良好。中生中心で品質良く、前年並の入荷を見込み価格高を予想。	
	71.02	78	73	・入荷見込量:2,800t(104) ・主産地:兵庫(75)、大阪(13)		
果 菜	きゅうり	189.84	237	211	・入荷見込量:7,520t(100) ・主産地:埼玉(31)、群馬(14)、福島(14)	促成ものでは収穫後半となり、成り疲れ等から、出荷量が減少。無加温もの出荷は前年並み。 今年量的に前年並だが、価格は前年をやや上回る見込み。 促成物終盤で減少も夏秋物が順調な出回りが予想され、入荷・価格共前年並を見込む。
		177.22	216	223	・入荷見込量:1,700t(99) ・主産地:宮崎(25)、福島(14)、愛媛(13)、香川(10)	
	トマト	209.59	250	262	・入荷見込量:9,280t(100) ・主産地:栃木(22)、千葉(17)、茨城(16)	5月中下旬の低温、日照不足で生育や着色に遅れの出ている産地があるが、全体的には前年並みの作柄。 今年関東産に病害の発生も見られるなど、作況は良くないが東北の前進もあり入荷は前年をやや上回り、価格はほぼ前年並の見込み。 生育は概ね順調も暫く小玉果傾向続く見込み。気温の上昇に伴い出回り増加してくるが、入荷は前年並で価格高を予想。
		228.53	229	246	・入荷見込量:1,950t(96) ・主産地:熊本(19)、愛知(15)、石川(11)、福岡(10)	
	なす	297.07	338	335	・入荷見込量:5,100t(97) ・主産地:高知(29)、群馬(18)、栃木(9)	天候不順の影響で着花がまちまちで果実の肥大もやや遅れている産地があるが、気温の上昇とともに回復すると見込まれる。 今年全般的に作柄が悪く、入荷、価格ともに前年を上回る見込み。 冬春、春物が天候不順や日照不足等による作柄不良で少なく、夏秋物も遅れが予想され、入荷は前年を下回る見通しから価格高を見込む。
		285.27	313	324	・入荷見込量:1,350t(102) ・主産地:大阪(27)、高知(17)、岡山(14)、奈良(11)	
ピーマン	251.5	362	407	・入荷見込量:2,690t(95) ・主産地:茨城(90)	1~2月に設定温度をやや下げた影響により生育が遅れており、出荷量もやや減少の見込み。 今年5月の天候不順が尾を引き十分に回復しないうちに6月を迎え、入荷は減少し、価格は前年よりも高い見込み。 促成物が切り上がり、夏秋物は生育良好で順調な出回りとなるも、入荷は前年より少ない見込みで価格高を予想。	
	253.95	278	358	・入荷見込量:390t(101) ・主産地:高知(26)、宮崎(24)、和歌山(23)、茨城(13)		
根 菜	だいこん	91.15	63	74	・入荷見込量:8,040t(100) ・主産地:青森(55)、千葉(24)	一部に生育が遅れがみられるが、概ね前年並みの出荷が見込まれる。 今年青森産は遅れ気味に始まり、千葉産も作付けの減少で少ないと予想される。価格がしっかりとすることで入荷は前年並み。価格は昨年よりもやや高い。 長崎産の切り上がり東北・北海道が早ばつ傾向から作柄やや不良で、入荷は前年を下回る見通しから価格高を予想。
		104.71	66	83	・入荷見込量:2,500t(96) ・主産地:北海道(35)、青森(25)	
	にんじん	133.01	232	200	・入荷見込量:6,570t(95) ・主産地:千葉(78)、埼玉(8)	一部に生育が遅れが見られるが、出荷量は前年並みが見込まれる。 昨年は豊作で肥大も良好であった。基調安が継続して市場出荷が伸び悩んだ。今年関東産地は昨年のような豊作でなく前年作となる。価格は前年を上回る見込み。 生育は概ね順調も入荷は前年ほどは多くない見込み。M~L中心で価格は前年の安値を大きく上回る見通し。
139.6		177	175	・入荷見込量:2,000t(98) ・主産地:長崎(38)、和歌山(26)		

種類	6月の価格動向(指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格) (上段: 関東、下段近畿、速報値)			6月の見通し	
	平均価格	上旬	中旬	主産地の概況	卸の見通し(上段: 関東、東京青果(株)、下段: 近畿: 大果大阪青果(株))
いも	344	455	528		
	347.9	636	606		
ばれいしょ	131.8	137	140	・入荷見込量: 8,520t(95) ・主産地: 長崎(52)、千葉(17) 静岡(16)、茨城(9)	2月の低温の影響で長崎では生育に遅れがみられるが、その他は概ね順調な生育。平年並みの出荷が見込まれる。
	131.8	139	150	・入荷見込量: 2,800t(104) ・主産地: 長崎(65)、北海道(15)、静岡(10)	今年是不作ではないが長崎、静岡については平年作と予想されている。ただし、関東が不作気味で先高感がある。入荷は前年を下回り、価格は平年よりも高い見込み。  長崎・静岡産は順調も北海道産が少なく、全体量は前年をやや下回る見込みで価格高を予想。

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均  
2) 旬別平均販売価格の青は保証基準価格を上回るもの。赤色は下回るもの。  
1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。(1)「卸の見通し」の内容は、東京青果株式会社「野菜展望」、大果大阪青果株式会社「虹」をもとに機構が編集したものである。  
2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名であり( )内は関東は入荷割合(見込み)、近畿は前年の占有率。  
3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人等からの聴き取りをもとに機構が作成したものである。

## 2 野菜の需要動向

家計調査による1戸当たりの生鮮野菜の購入量は1~3月は前年をやや上回って推移し(前年対比1月: 104.6%、2月: 104.5%、3月: 101.9%)、4月は前年並(同99.8%)となっている。  
本年1~3月の小売価格については、レタスは過去3カ年に比べやや低く、トマトは同程度となっている。

### 1 生鮮野菜の購入量及び金額

年	平成20年		平成19年		過去5カ年平均	
	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)
1月	4,341	1,479	4,148	1,487	3,981	1,524
2月	4,471	1,582	4,279	1,447	4,218	1,566
3月	4,763	1,735	4,674	1,629	4,527	1,692
4月	4,896	1,786	4,904	1,794	4,667	1,775
5月			5,215	1,891	5,068	1,876
6月			5,081	1,827	4,955	1,860
7月			4,488	1,700	4,391	1,681
8月			4,392	1,766	4,257	1,648
9月			4,784	1,807	4,678	1,730
10月			5,151	1,870	5,110	1,814
11月			4,969	1,632	4,832	1,576
12月			5,194	1,869	5,041	1,779

資料: 総務省「家計調査報告」

### 2 指定野菜の月別販売価格の推移

月	(単位: 円/kg)			
	レタス		トマト	
	平成20年	過去3カ年平均	平成20年	過去3カ年平均
1月	344	497	607	597
2月	364	425	616	595
3月	370	394	603	603
4月		353		593
5月		363		583
6月		323		503
7月		271		523
8月		381		558
9月		337		599
10月		321		665
11月		281		639
12月		333		651

注: 過去3カ年は平成17~19年

資料: 農林水産省「全国の主要都市における主要野菜の小売価格・販売動向」

## 3 野菜の輸入動向

中国からの野菜の輸入量は、平成17年には154万トンであったものが、19年には、87%の132万トンとなっており、さらに20年1~4月では対前年同期比78%となっている。  
一方、5月の輸入量を植物検疫統計でみると、たまねぎについては米国、にんじんについては台湾など、一部他国からの供給に置き替わっている。

### 中国からの野菜等の輸入数量の推移について

区分	平成17年	平成18年	平成19年	(単位: トン、%)			
				前年比	平成19年1~4月	平成20年1~4月	前年同期比
生鮮野菜	638,729	586,524	435,418	74	153,205	97,773	64
加工野菜	904,518	931,080	882,763	95	312,913	265,091	85
中国産野菜合計	1,543,247	1,517,604	1,318,181	87	466,118	362,864	78
野菜輸入量合計	2,522,201	2,386,515	2,109,730	88	865,676	785,095	91
中国産シェア	61	64	64		54	46	

資料: 財務省「貿易統計」

### 主な野菜の輸入動向

品目	輸入先	(単位: トン、%)		
		(A) 2007.5	(B) 2008.5	(B) / (A)
たまねぎ	合計	17,074	9,494	56
	中国	15,917	8,207	52
	米国	14	112	800
にんじん	合計	7,988	4,993	63
	中国	6,958	1,218	18
	台湾	24	2,034	8,475
ねぎ	合計	4,550	2,767	61
	中国	4,548	2,766	61

資料: 農林水産省「植物防疫検査統計, 2008.5は6月第2週現在」

## 4 トピック

平成20年度冬春野菜等需給ガイドライン検討会開催  
平成20年5月22日、生産出荷団体等が平成20年度冬春野菜等に係る供給計画を作成する際の目安となる指標(需給ガイドライン)を策定するに当たり、その案について農林水産省において検討が行われ、公表された。

### 平成20年度冬春野菜等の需給ガイドライン (単位: トン、ha、%)

種別等	需要量	供給量	国内供給量		作付面積(指標)
			国内供給量	作付面積	
春キャベツ	253,500	359,300	352,300	8,790	
冬キャベツ	400,600	567,800	557,500	14,000	
春きゅうり	317,600	348,500	322,700	3,260	
春だいこん	211,500	250,000	244,200	4,960	
秋きゅうり	945,000	1,117,000	1,099,000	25,300	
たまねぎ	1,303,000	1,524,000	1,190,000	24,000	
うち北海道産	675,200	789,300	670,500	12,000	
うち都府県産	628,100	734,300	519,200	12,000	
冬春トマト	697,800	836,500	373,500	4,030	
冬春なす	123,700	143,200	135,100	1,320	
春にんじん	262,400	287,800	152,400	4,280	
冬にんじん	376,300	412,700	262,800	8,240	
春ねぎ	71,300	98,600	85,300	3,380	
夏ねぎ	81,500	112,600	97,500	5,050	
春はくさい	85,400	106,900	104,800	1,820	
秋はくさい	495,400	619,500	616,400	14,300	
ばれいしょ	1,909,000	2,121,500	1,324,000	85,700	
冬春ピーマン	68,900	85,300	71,900	8,736	
ほうれん草	266,300	321,600	295,300	23,200	
春レタス	93,000	114,300	113,700	4,230	
冬レタス	145,400	178,800	176,600	7,780	